

研究会報告

パーソナルカラー研究会

平成28年度第1回見学会

中井 浩子(研究会幹事)

2016(平成28)年6月17日(金),セリック株式会社テクニカルセンター(新越谷)へ人工太陽照明灯の見学に行きました。照明の違いによる色の見えの違いはパーソナルカラーリストにとって日頃から留意していることではありますが、実際の照明環境により生じる演色性の違いをなかなか実験できる機会はなく今回の見学会になりました。

折しも名古屋大会も「自然の光,人工の光」というテーマのもとで開催されました。セリック株式会社は人工太陽照明灯を先代より技術開発,製造販売している会社です。近年開発されたLED人工太陽照明灯は太陽光を忠実に再現,分光分布も近紫外線を含む連続光です。つまり太陽と同じ光を持つ光です。室内に居ながら「人工照明灯のもとで見る色」と「太陽光のもとで見る色」との違いを同時に比較できることとなります。

テクニカルセンター見学会は,佐藤郁夫社長による「よくわからない光学用語と,光と色」の講演で始まりその後は①各種照明と色の違いの体験 ②光学測定器の見学 ③LED人工太陽照明灯のもとでドレープを使い診断デモンストレーションという盛りだくさんの見学会でした。太陽先生というニックネームを持つ佐藤郁夫社長の講演は,分かりやすい言葉でまた身近な例えで専門用語の多い照明についてレクチャーしていただきました。

参加者からの感想文でも「専門用語が分かりやすかった」「光学の教え方の参考になった」とありました。

①各種照明灯と色の違いの体験

白熱灯,蛍光灯,LED人工太陽照明灯で同時に色を

比較することができる装置のもとで,手を入れ肌色がどのように映るか比較,LED人工太陽照明灯の演色性が高いことを実感しました。

②光学測定器を見学

光学測定器を使用しているところを見学,光学測定器を実際に見る機会は勿論のこと測定しているところを見る機会などないに等しいので,大変よい経験となりました。

③LED人工太陽照明灯のもとでドレープを使い診断デモンストレーション

モデルの方から「光がクリアでマイルドに感じた。」「目が疲れない。」と感想,色の雑味がなくなり本来の色が見やすいので診断がスピーディーになります。そして天候や時間に左右されずに診断ができることはパーソナルカラーリストにとっては嬉しいことです。参加のカラーリストさんにはドレープを1,2枚持参して頂きました。いつも見慣れているドレープの色がどのように違って見えるのかを各自体感してもらいました。また使用しているドレープも様々なので,ドレープの当て方,診断の仕方,ドレープの色の違いを見ることができたことも貴重な経験だったと思います。

懇親会の席で頂いた感想,「大変勉強になり参加して良かった」「面白かった」「今日の経験を今後の自分の仕事に活かしていきたい」など。

最後になりましたがご多忙のところ見学のためにご尽力いただきました,佐藤郁夫社長,社員の皆様からお礼申し上げます。ご参加頂きました皆様ありがとうございました。

